

第21回松本砂防事務所工事安全対策研究発表会を開催しました

平成8年12月6日に14名の尊い人命を失い、9名の負傷者を出した蒲原沢土石流災害から今年度で22年となりました。

松本砂防事務所工事安全対策研究発表会は、この災害を風化させることなく、砂防工事現場の安全対策に活かすことを目的に平成10年から実施しており、21回目となる今回は平成31年2月13日に長野県大町市において開催しました。

当日は、松本砂防事務所が発注する工事及び業務の受注者をはじめ、国土交通省や地方自治体の職員等約240名が参加し、工事施工者から応募があった砂防工事の安全対策の工夫に関する論文32編の中で、一次選考会より選ばれた6編の論文を発表していただきました。

また、会場では、工事の安全に関して創意工夫を行った事例について、ポスターセッション(6件)も行い、参加者の投票により、2件の優秀賞が決まりました。

本発表会を通じ、参加者一同、土石流災害について改めて認識を深めるとともに、砂防工事における安全管理等について意識を高めました。

○主な論文と発表者

・最優秀賞 (株)傳刀組 那須野進氏
「金山沢第4号砂防堰堤その4工事における安全対策について」

・優秀賞 (株)鷺沢建設 宮澤政昭氏
北陽建設(株) 西澤成範氏

○ポスターセッション(6件)

・優秀賞 サウンド建設(株) 内川豊氏
北陽建設(株) 太田克己氏

○特別講演

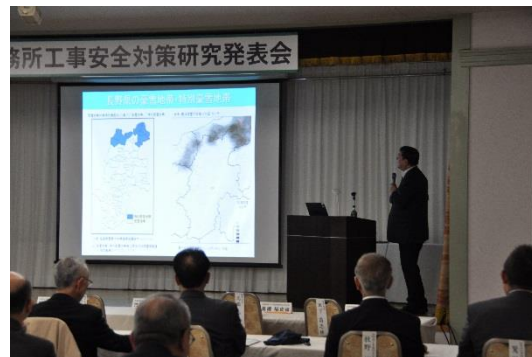
「防災気象情報の活用」
長野地方气象台 次長 春原城辰氏



工事施工者による論文発表



ポスターセッション



春原城辰氏による特別講演



表彰式